

東京23区探索徒歩の旅

【8】 北区

2014年4月29日(火)

【1】	はじめに	1月1日(水)
【2】	足立区	2月1日(日)
【3】	荒川区	3月23日(日)
【4】	板橋区	3月30日(日)
【5】	江戸川区	4月19日(土)
【6】	大田区	4月27日(土)
【7】	葛飾区	4月
【8】	北区	4月29日(火)
【9】	江東区	5月
【10】	品川区	5月
【11】	渋谷区	6月
【12】	新宿区	6月
【13】	杉並区	7月
【14】	墨田区	7月
【15】	世田谷区	8月
【16】	台東区	8月
【17】	中央区	8月
【18】	千代田区	9月
【19】	豊島区	9月
【20】	中野区	10月
【21】	練馬区	10月
【22】	文京区	11月
【23】	港区	11月
【24】	目黒区	12月



1. 旅前の北区の印象

小生にとって北区は知っているようで知らなく、行ったことがあるようで
行かなかったことがない。身近の様で身近でない。
荒川区と北区の境は、まったくわからない。
どの様な有名文化財や観光名所があるかも良くわからない。
そんな北区を訪れ、知ることは旅の醍醐味であり、楽しみである。

2. 北区紹介

1932年(昭和7年)10月1日 東京府北豊島郡岩淵町・王子町・滝野川町が東京市に編入され、
岩淵町と王子町は王子区、滝野川町は単独で滝野川区となる。

1943年(昭和18年)7月1日 東京都制施行で東京都王子区・滝野川区となる。

1947年(昭和22年)3月15日 王子区・滝野川区の合併で北区が発足。

3. 今回の北区徒歩の旅

1) ルートと全体概要

(1) 往路

大月駅 → (中央本線) → 新宿駅 → (埼京線) → 浮間舟渡駅

(2) 徒歩の旅

浮間舟渡駅 → 浮間公園 → 荒川沿 → 岩間水門(隅田川起点) → 王子 →

飛鳥山公園 → 旧古河庭園 → 田端駅 16km

(3) 復路



2) 徒歩の旅 ドキュメント

4時55分

起床。

外は曇、肌寒い。

体調は、昨日の夕飯で刺身にたっぷりおろし生ニンニクをまぶして

食べたので、パワー全開。

今日は東京23区徒歩の旅の6回目、北区に行く。

順番的には、小生の生まれ育った故郷・葛飾区だが、帰りにゆっくり

実家に寄ろうと考えているため別途日程調整中。

さて朝食は、ご飯、豚肉とかぼちゃとこんにゃくと野菜各種が

入った手造りほうとう、ほうれん草のお浸し、わらびの煮物等々。

更にパワーアップ。

今日も家内に大月駅まで青い折笠プリウスαで送って貰う。

明日は濱野屋のパートが休みなのでどこかにお連れします。

5時37分

早朝の大月駅はいつも以上に静かである。

中央特快東京行に乗る。今日は祭日なのでほとんど乗客はいない。

小生の連休は、まだ4日目なのでルンルン気分は続いている。

途中、電車の中ではパソコンで旅行プランをチェック。

7時25分

埼京線浮間舟渡(うきまふなど)駅に到着。

まったくの未知のゾーン。

駅は半分が北区、半分が板橋区になっている。

薄日が射ってきて前の浮間公園の浮間ヶ池がキラキラ輝いている。



浮島舟渡駅

7時35分

浮間公園内に入る。浮間ヶ池畔を北区側で進む。

時間がゆっくり流れている。

ここで紹介

『昭和60年に開通したJR埼京線の浮間舟渡駅前の水と緑、それが浮間公園です。

この公園は、面積の約40%が浮間ヶ池です。浮間ヶ池はかつての荒川の水流です。釣りもでき、初心者や小さなお子様連れでも気軽に楽しむことができます。

湖畔には公園のシンボルとして設置された風車が映えます。

春には桜、ツツジ、梅雨時にはアジサイが美しく咲き、

秋にはケヤキが美しく紅葉します。

また、初冬からはカモなどの渡り鳥が多く集まります。

公園の奥(北側)の保護区になっているので

オオヨシキリやコジュケイ、ウグイスなど、街中ではあまり見ることのできない小鳥の鳴き声が聞かれます。

この他、野球場、テニスコート、ジャブジャブ池、

子どもの遊び場、水生植物園、冒険広場 などがあり、フリーマーケットも開かれます。

もう一つの楽しみは、野生のタヌキ。早朝、運がいいと遇えるそうです。』



風車と釣り人



池とカモと高層ビル

風車と釣り人、絵になるなあ。

オランダで観た風車はもつとどでかかった。

釣り人はただ一人、黙って水面を見つめている。

何を考えているのかな。

ところで浮間ヶ池は、荒川の一部で三日月湖になったそう。

池とカモと高層ビル、これまた絵になるなあ。

浮間公園を20分間探索する。



荒川の土手

7時55分

荒川土手に出る。超立派な土手である。

防災対策が十分できている感がある。

川沿いにはゴルフ場が続く。多くのゴルファーが歩いている。

対岸の埼玉県川口市のビル群が目立つ。

北区側はビル群の中に築数十年以上と思われる木造家屋も多くある。

新旧がうまくマッチングしている。

緑とマンションと東北上越新幹線、北区独特の景色である。



川口市のビル群

8時17分

浮間地区荒川防災ステーション有。

ここは、洪水時や地震時に水防活動を行うために必要な資財を備蓄した防災拠点として、北区と国土交通省が共同で整備したステーションだそう。



木造住宅

8時25分

新河岸川が現れた。板橋区の旅の時、上流を歩いた川である。
浮間地区はこの新河岸川と荒川に挟まれている。
名前の由来は荒川に突き出た形が浮島に見えたことから起きた地名だそうだ。

8時32分

JR宇都宮線、高崎線、京浜東北線の複々線の鉄道橋。
迫力がある。
2014年度中完成の上野駅～東京駅の上野東京ラインが
開通するとここを横須賀線のクリームと青色の車両が走るのだろうか。
楽しみ～。



JR複々線

この時、カラスが急接近。
何か言いたげな目をしていた。



カラス

8時35分

芝桜と野球と荒川、絵になるなあ。
芝桜をよく見ると花文字になっている。
KITACITY（北区の英語名）
やるなあ。こういう手間暇かけること大好き。
ところで、見せる対象は？
対岸の埼玉県？ 飛行機の乗客？



芝桜と野球と荒川



花文字

8時45分

荒川大橋。確かに大きな橋。
河口まで22kmだそうだ。



岩淵水門(赤水門)

8時52分

ついにやって来ました隅田川起点。
是非訪れたいと思っていた所である。
素晴らしい。
何かとても重厚で爽やかな雰囲気を感じられる。
岩淵水門(赤水門)、水門公園 新岩淵水門(青水門)
ここで紹介



新岩淵水門(青水門)

『岩淵水門は、北区志茂において現在の荒川と隅田川とを仕切る水門。
かつて「荒川放水路」と呼ばれた人工河川を現在は荒川と呼び、
かつての荒川を「隅田川」と呼ぶ。この水門はこれらの分岐点にある。
1924年(大正13年)竣工の旧水門(通称:赤水門。運用終了)と
1982年(昭和57年)竣工の新水門(通称:青水門。運用中)の2つが
存在する。』

広場でなにやらイベント？

どうも、仲間内や家族連れの
野外宴会みたい。うらやましい～。
おらも来週、地元公民館の軒下で
宴会が待っている。



野外宴会



隅田川スタート地点

9時10分

水門近くに荒川知水資料館がある。
これは、国土交通省が荒川流域の人と情報の
交流、また北区における河川公園管理の拠点
として、これらの機能を集結させる形で平成10年
3月に開館したものだそうだ。

ここから、荒川と別れて王子に向かう。
北区志茂5丁目、住宅地に入る。

路地裏は普通の下町風景。

志茂子ども交流館がある。
子どもを大切にしているんだなあ。



志茂子ども交流館



銀杏とツツジの道

9時20分

国道122号線・北本通りに入る。
緑の銀杏とピンクのツツジが道を飾る。
ほんと綺麗である。

9時28分

なんと、ここに東京メトロの駅入り口有。
何線？ 南北線だと。
東京メトロ南北線は、東京都品川区の目黒駅から北区の
赤羽岩淵駅を結ぶ。
北区にも地下鉄が走っているんですね。志茂駅。たい志た茂んだ。



志茂駅

9時35分

今度は、あの塔は何だ？
灯台か？ 陸にあるわけないでしょ。
周りに立派な建物もある。
その名は、東京都北清掃工場
この清掃工場は現役建築家で早稲田大学
理工学部教授の石山修武さんの設計。
中野区や板橋区の清掃車も来ている。
北区殿ありがとう。



北清掃工場



環七

9時45分

環七通りを横断する。東京郊外側の23区を歩いていると
必ず環七や環八に遭遇する。何かほっとする。
どこも立派な道である。
ここは北区神谷3丁目。



王子地区のビル

9時50分

王子地区に入ってきた。
ビルが多くなってきた。
やはり王子は北区を代表する地区なんだな。



重慶の様な佇まい

何やら中国重慶の住居の様な佇まい有。

お洒落な王子消防署、黄金色のレンガが素敵。



王子消防署

10時10分

王子駅着。
高専時代、一度訪れたことがある。
駅前はとても活気があって賑やか。
中学生が緑の募金で声を張り上げて頑張っている。
気の小さい小生はどうしても知らんぷりして通過できず。
王子駅は鉄道ファンにとって興味深い。
上段を東北上越新幹線が通る。
中段は京浜東北線の駅があり、
宇都宮線&高崎線は通過。
下段は都電・荒川線の駅がある。
新旧のマッチングが面白い。
遠い将来、新幹線の駅ができる？



王子駅

10時27分

駅から少し歩くと音無橋の向こうに北区役所が見える。



音無橋と北区役所

10時32分

駅前に戻ると飛鳥山公園がある。

ここで紹介

『飛鳥山公園(あすかやまこうえん)は、東京都北区にある区立公園。

JR都内の桜の名所の一つ。

江戸享保期に行楽地として整備され、明治6年(1873年)には上野公園などと共に日本最初の公園に指定された。園内に残る渋沢栄一の旧邸は国の重要文化財に指定されている。

徳川吉宗が享保の改革の一環として整備・造成を行った公園として知られる。

吉宗の治世の当時、江戸近辺の桜の名所は寛永寺程度しかなく、花見の時期は風紀が乱れた。

このため、庶民が安心して花見ができる場所を求めたという。開放時には、吉宗自ら飛鳥山に宴席を設け、名所としてアピールを行った。』

これから公園を横断する。

非常に静かで情緒があって良い。

あすかパークレール アスカルゴ

形から飛鳥とエスカルゴの造語かな。



アスカルゴ



入口付近

なんと、のんびりしていることか。

桜の賦の碑 佐久間象山作

エコロジーキャンペーン北区イベント

高校生中心のブラスバンド。

とても軽快で心ウキウキ元気を貰った。



桜の賦の碑



ブラスバンド

あっ、D51だ。

D51853 昭和18年8月31日完成。

総走行距離 1942471km(194万km)

昭和42年6月24日引退。

1280馬力、GVW125t

出力ピストンから動輪(径1400mm)までの

機構が非常に良く考えられている、感心した。

昔の技術者は、まだ電子技術がないため、すべて機械的に装置を考えていたのだ。

飛鳥山で改めて、機構学を勉強させられた。



D51

紙の博物館

世界でも有数の紙専門の博物館。

日本最初の洋紙工場だった旧王子製紙(1949年分

引き継ぎ、1950年に製紙記念館として設立

北区飛鳥山博物館

地域の郷土資料を展示する博物館。

渋沢資料館

渋沢史料館同地に本邸を構えていた実業家

渋沢栄一に関する資料を

収蔵展示する博物館。



北区飛鳥山博物館



紙の博物館



渋沢資料館

10時55分
渋沢庭園へ。

ここで紹介

『渋沢栄一の旧邸「曖依村荘(あいいそんそう)」跡の庭園。
現存する2棟は共に「旧渋沢家飛鳥山邸」の名称で国の
重要文化財に指定されている。』

『渋沢 栄一(天保11年2月13日(1840年3月16日) -
昭和6年(1931年)11月11日)は、江戸時代末期(幕末)から
大正初期にかけての日本の武士(幕臣)、官僚、実業家。
第一国立銀行や東京証券取引所などといった多種多様な
企業の設立・経営に関わり、日本資本主義の父といわれる。
理化学研究所の創設者でもある。
正二位勲一等子爵。雅号に青淵(せいえん)。』



渋沢庭園

11時15分

すっかり、文化を堪能し、次に旧古河庭園を目指す。

11時25分

東京メトロ南北線 西ヶ原駅。

花と森の東京病院有。

良い名前。病気もすぐ治りそうである。



森と花の東京病院

11時32分

旧古河庭園に到着。

ここは、和と洋が調和する大正時代の庭である。

ここで紹介

『旧古河庭園は、東京都北区にある都立庭園である。

1917年(大正6年)に古河虎之助男爵の邸宅として
現在の形に整えられた。

現在は国有財産であり、東京都が借り受けて、
一般公開している。

国の名勝に指定されている。』



庭園入口

和と洋の調和が素晴らしい。

洋館では結婚式が行われていた。
新婦の白いドレスと赤い花がワンダフル。

日本庭園、日本の美がある。

一日ここで想いにふけりたい。

11時55分

ゆっくり流れる時間、心があらわれた気分。
日本人に生まれて良かったと思えた時である。
(桃屋のはならつきよを思い出す)
それでは出発。



洋館



日本庭園

庭園前にたいへんお洒落な建物がある。
 北区滝野川会館&図書館。
 さすが北区。庭園の雰囲気や壊さぬ様な配慮。
 気遣いと余裕を感じた。



滝野川会館

12時02分
 あの建物は？小生の好きな教会？
 女子聖学院、なにやら神々しい雰囲気。



女子聖学院

12時08分
 東北上越新幹線と山手線の合流地点。
 最終ゴール地点の田端駅も近い。



田端合流地点

12時16分
 田端駅着、とてもきれいで爽やかな駅。
 小生も、爽やかにゴール！



田端駅

総走行距離 16km
 総時間 4時間40分

比較的短いコースだったが、初めての名所や区の施設が多く、
 たいへん充実した旅であった。
 北区は素晴らしい。

P.S. 今日はこれから長女と次男と石和温泉のスパへ行く
 約束をしているので早く帰る。
 尚、どうしても日本そばが食べたくて、途中高尾で
 寄り道して、かき揚げそばとライスを食べた。

3)トピックス

(1)王子製紙の歴史

131年前の1873年に渋沢栄一氏によって設立。

最初の工場の所在地、東京府下王子村(現在の東京都北区王子)の地名に由来し命名。

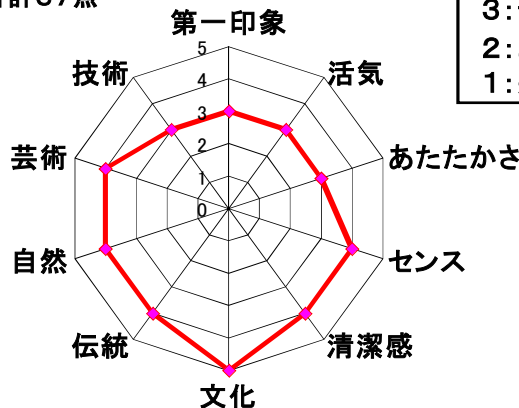
戦後のGHQの経済民主化政策による「過度経済力集中排除法」により、「苦小牧製紙(現王子

4. 旅後の北区の印象

1)評価

評価項目		点数
主観的評価	第一印象	3
	活気	3
	あたたかさ	3
	センス	4
客観的評価	清潔感	4
	文化	5
	伝統	4
	自然	4
	芸術	4
技術	3	
合計		37

北区
 合計37点



点数
 5: 良い
 4: まあ良い
 3: 普通
 2: あまり良くない
 1: 悪い

2)全体を通し

小生の北区のイメージは一新した。

隅田川の始点地点の雰囲気、飛鳥山公園の文化、旧古河庭園の可憐さ、街に溢れる花々。

旅後の印象と始めの第一印象とは大きく異なった。

5.自身思っていることに対するフィードバック

1)23回/年の徒歩の旅は、回数的にも大きなチャレンジとなる

→1回の準備、実施、レポート作成は、相当な労力と時間を要する。

生活の一部と捉えれば問題ない。

2)最新のモバイルパソコン導入により移動中の生情報ブログ作成にチャレンジする

→慣れてきた。

(3)有言実行、周りにやるぞと言ってしまった、もう逃げられない

→大丈夫。

(4)田舎のおじさんは少しは都会的センスが磨かれるだべか

→北区で磨かれた。

(5)自分なりの日本の心を構築していく

→日本の心の素晴らしさがわかってきた。